

平成28年度市民評価委員会評価結果一覧表(環境調和・健康福祉部会)

事業名		部局名	課所名	実施日時	
菊本最終処分場施設整備事業		環境部	環境施設課	第1回	9/8(木)
◇ 自己評価結果	重点化する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	施設の延命につながるような対策も検討しながら、適切な施設・設備の維持管理ができるよう、現状のまま継続していただきたい。				
他意見	市民一人当たりのコストが45円かかっていること、この施設を出来る限り長く使わなければならないことをもっとPRしてもらいたい。				
質疑	○この施設は何年で満杯になると計画しているのか。 ○延命措置としてどのようなことをしているのか。				
ごみ分別収集充実事業		環境部	ごみ減量課	第1回	9/8(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	この事業については継続していくしかないが、どうしたらごみを減らせるのかを常に考えながら、関連している事業とも連携して取り組んでいただきたい。				
他意見	市民一人当たりのコストが2,400円以上かかっている。このことをもっと市民にPRすべき。人口が減少している中でごみが減っていないのはおかしい。				
質疑	○マンション等の場合、未分別があれば市役所が直接指導するのか。 ○ごみの量の推移は。				
汚水管渠等建設事業(公共)		環境部	下水道建設課	第1回	9/8(木)
◇ 自己評価結果	重点化する				
◆ 市民評価委員会結果	重点化する				
総括	国から指導されている10年概成を目標とするアクションプランを策定し、目標に向けて重点化して取り組んでいただきたい。但し、長期的には、総合的な判断基準に基づいた計画の見直しを図っていただきたい。				
他意見	阪神淡路大震災では公共下水道が損壊して大きな影響が出た。合併処理浄化槽であればそんな被害にはならなかったはず。そういったことも含めて見直しは必要。限られた財源の中、皆が同じでなくても良い。				
質疑	○普及率は全国平均を下回る中、目標は年1%の増でしかないのか。 ○公共下水と浄化槽ともっとバランスよくできないか。				
省エネルギー対策事業		環境部	環境保全課	第1回	9/8(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	成果指標の実績も上がっているため、今後も省エネ推進のため、事業を継続していただきたい。				
他意見	事業名から市民を対象とした事業だと思っていた。もう少し分かりやすい事業名にしていきたい。				
質疑	○この事業費には、環境監査も入っているのか。 ○教育委員会の施設は対象になっているのか。				

事業名		部局名	課所名	実施日時	
エコして得するポイント事業		環境部	環境保全課	第1回	9/8(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	始まったばかりであるため、今後の展望を考えながら事業を実施していただきたい。				
他意見	これは、事業へ興味を持ってもらうための手段であり、事業自体が面白くないと環境事業が衰退していってしまう。そのことを念頭に実施し、その後の発展を考えていただきたい。				
質疑	○参加していない人への評価や成果予定についてどう考えているのか。 ○市民への周知が足りないのでは。				
妊婦・乳児期の健康づくり		福祉部	保健センター	第2回	9/29(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	妊娠期から乳児期にかけて丁寧に関わっていくことで、孤立した育児環境にある母親の支援や育児不安の軽減につながるよう、現状のまま継続していただきたい。				
他意見	イクボスやイクメンという言葉もあるが、生まれて1か月くらいが一番大変な時期に男性も育児に参加すれば、男性の考え方も随分と変わってくる。ママ友作りだけでなく、男性の育児参加についても、大きな課題として取り組んでいただきたい。				
質疑	○事業をまとめたメリットは何か。 ○両親学級の成果は。				
生活困窮者自立支援事業		福祉部	生活福祉課	第2回	9/29(木)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	潜在的な自立困窮者を救うため、関係機関・関係団体との連携を密にし、相談から就労まで繋げられるよう現状のまま継続していただきたい。				
他意見	こういった制度ができたことをもっと市民に知らせる必要がある。				
質疑	○70人相談に来て、まだ一人も成果として上がっていないのか。 ○困窮に陥った原因を分析しているか。				
高齢者生きがい創出事業		福祉部	介護福祉課	第2回	9/29(木)
◇ 自己評価結果	手段を改善する				
◆ 市民評価委員会結果	手段を改善する				
総括	生きがい創出や介護予防に繋げるため、特定の人だけが恩恵を受け、単発で終わるのではなく、次へ繋がっていくような事業に育つよう手段を改善して取り組んでいただきたい。				
他意見	○市民感覚としては、50万円は贅沢だと考える。ボランティア的な要素も加えて経費を削減する必要がある。 ○地元の意見も組み入れて、種をまいて育てるような事業にしなければならない。				
質疑	○選定の段階で、使い道も分かって審査しているのか。 ○ひとそれぞれ様々な生きがいがあり、もっと広範囲で取り組めないか。				

事業名		部局名	課所名	実施日時	
健康長寿地域拠点づくり事業		福祉部	介護福祉課	第2回	9/29(木)
◇ 自己評価結果	重点化する				
◆ 市民評価委員会結果	重点化する				
総括	地域の拠点をどんどん増やし、5年・10年先もやってよかったと言えるよう、市職員も積極的に関与し、重点化して取り組んでいただきたい。				
他意見	○先の「高齢者生きがい創出事業」のような支出の仕方ではなく、自治会の活性化にもつながり、こういったところにお金を使うべき。 ○市の職員もアフターファイブは自治会に入って活動してもらわないといけない。				
質疑	○現在5箇所だが、これから手を挙げたところは増やしていくのか。 ○もっと地域に出ていく人役が必要ではないか。				
延長保育対策事業（私立）		福祉部	子育て支援課	第3回	10/5(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	保護者の就労形態の多様化に合わせて、円滑な延長保育が実施できるよう現状のまま継続していただきたい。				
他意見	子供がどんどん減っている中、私立では経営のため、1人でも多くの園児を獲得するために一生懸命になっている一方、公立では市職員として給料が上がり、やっていけなくなって民間に委託している。こんなことをいつまでも続けていいのか。				
質疑	○待機児童はいないのか。 ○平成26年から27年度にかけて予算が大幅に減っているのはなぜか。				
一時保育対策事業		福祉部	子育て支援課	第3回	10/5(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	就労形態の多様化や育児自体の孤立化といった、保護者の肉体的・精神的負担を解消し、育児支援につながるよう現状のまま継続していただきたい。				
他意見	特になし				
質疑	○育児支援が多いということだが、一時保育で解消されているのか。 ○事業の性質上、若宮と垣生に限定する必要はないのではないか。他の園では受け入れられないのか。				
ファミリー・サポート・センター運営事業		福祉部	子育て支援課	第3回	10/5(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	サービスを提供する会員を増やし、育成して、安心して子育てができる環境をつくり、育児負担の軽減につながるよう。現状のまま継続していただきたい。				
他意見	病気の関係で難しい面もあるが、ファミ・サポの場合は、お互いの信頼感があるので、預けられるのであれば、子どもも安心感はある。				
質疑	○アドバイザーや会員は研修を受けているのか。 ○会員はどれくらいいるのか。				

事業名		部局名	課所名	実施日時	
児童虐待防止対策緊急強化事業		福祉部	子育て支援課	第3回	10/5(水)
◇ 自己評価結果	現状のまま継続する				
◆ 市民評価委員会結果	現状のまま継続する				
総括	現状の把握を行い、次に繋げていけるよう現状のまま事業を継続し、周知啓発にも努めていただきました。				
他意見	特になし				
質疑	○要保護児童対策地域協議会は事例が起こってではなく、定期的を開催しているのか。 ○要保護児童の148人は延べ人数か。				